



# 第42回 四つの男声合唱の集い

2024年5月26日(日)

13:00 開場 13:45 開演

兵庫県立芸術文化センター  
KOBELCO 大ホール

A N C O R の 会



# Program

## 1 大阪男声合唱団

### 寺山修司の詩による6つのうた「思い出すために」

作詩/ 寺山修司      作曲/ 信長貴富  
指揮/ 萩原寛明      ピアノ/ 内藤菜穂子

- ①かなしみ
- ②てがみ
- ③世界のいちばん遠い土地へ
- ④ぼくが死んでも
- ⑤思い出すために
- ⑥種子

## 2 六甲男声合唱団

### 「民謡をたずねて」

編曲/ 沖喜英雄<sup>①</sup>・小林秀雄<sup>②~④</sup>      作曲/ 清水 脩<sup>⑤</sup>  
指揮/ 田中安夫

- ①竹田の子守唄（京都）
- ②刈干切唄（宮崎）
- ③ちゃっきり節（静岡）
- ④こきりこ（富山）
- ⑤最上川舟唄（山形）

## 3 南漕会合唱団

### 男声合唱組曲「おおさかグラフィティー」

作詩/ 島田陽子      作曲/ 前田憲男  
指揮/ 海谷叔伸      ピアノ/ 石幸千照

- ①いうやんか
- ②かぞえうた
- ③へんなひと
- ④けったいなひと
- ⑤ややこ
- ⑥あいうえおおさか くいだおれ

## 4 アルマ・マータ・クワイア

### 男声合唱組曲「中原中也の詩から」

作詩/ 中原中也      作曲/ 多田武彦

指揮/ 上床博久

- ①北の海
- ②汚れっちまった悲しみに
- ③間奏曲
- ④雲雀
- ⑤六月の雨
- ⑥月の光

## 5 合同演奏

### 男声合唱のための組曲「旅」

作詩/ 山之井 慎<sup>②～④</sup> ・ 田中清光<sup>①⑤～⑦</sup>      作曲/ 佐藤 眞

指揮/ 宮内 泰      ピアノ/ 石幸千照

- ①旅立つ日
- ②村の小径で
- ③旅のよろこび
- ④なぎさ歩めば
- ⑤かごにのって
- ⑥旅のあとに
- ⑦行こう ふたたび



第41回合同演奏（2023年5月13日、兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール）



# ごあいさつ

本日は、ご多用の中、ANCORの会主催「第42回 四つの男声合唱の集い」演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

昭和56年(1981年)に始まったこの会も、昭和、平成そして令和の時代に入り、創立44周年となります。成り立ちの背景、文化の異なる合唱団が、手を携えて毎年演奏会を開催することを通して、相互に影響し合い、切磋琢磨し、絆を深めて参りました。

今回の演奏会でも、各団の特色ある4つのステージに加え、恒例の合同演奏の第5ステージがございます。4団体の仲間が一堂に会して共に練習を重ねた中で形成されたメンタルハーモニーを奏でることができればと願っております。

創立当時から今日まで本会が継続できておりますことは、多くの皆様のご支援とお力添えのお陰と厚く御礼申し上げます。ひきつづきのご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

本日は、最後までご一緒にお楽しみいただければ幸いです。

|              |         |
|--------------|---------|
| アルマ・マータ・クワイア | 大 澤 孝   |
| 南漑会合唱団       | 扇 田 豊   |
| 大阪男声合唱団      | 本 城 正 博 |
| 六甲男声合唱団      | 永 井 哲 郎 |

## ANCORの会について

大学男声合唱団のOB合唱団が集い、第1回の合同演奏会「四つのOB男声合唱の夕べ」を開催したのは1981年5月、参加したのは、アルマ・マータ・クワイア(京大、現在はオープン化)、六甲男声合唱団(神大)、コール・アカデミー関西OB会(東大)、南漑会合唱団(大阪市大)の4団体でした。翌年の第2回から大阪男声合唱団(阪大)が加わり5団体となりました。

当時は現役の大学男声合唱団が隆盛を極める一方、OB合唱団は団員数が低迷し、単独での演奏会開催は難しい事情もありました。しかし、その後の各団のたゆまぬ努力もあって、発足から今日まで、コロナ禍により中止を余儀なくされた2020、2021年を除いて、毎年欠かすことなく合同演奏会の開催を続けております。

第5回演奏会終了後に集まりの名称を検討し、偶々並べた5団体の頭文字がA、N、C、O、Rであることから「ANCORの会」と名づけました。コール・アカデミー関西OB会が団員数の減少により2017年から休会となりましたが、「ANCORの会」の名称はそのままとし、現在に至っています。

本日は昨年が続いて通算7回目となる芸文センター大ホールにての開催となります。



「思い出すために」は2002年に女声二部合唱とピアノによるシンプルな形で作曲されました。そして2003年には男声二部合唱に、2004年には混声四部合唱に編曲され、多くの人に愛される作品となりました。曲集全体を通して魅力的な旋律に溢れています。

男声合唱に編曲された際に、作曲家は次のように述べています。「男声の歌唱によっても、寺山作品の諸要素－寓話性の中に込められた真意、ニヒルな語り口に包まれた感傷、個（孤）と他者との距離感－は音楽に滲み込んでおり、むしろそれらが生々しく浮かび上がってくるようにも思えます。」

大阪男声合唱団では2007年にこの作品を男声二部版で取り上げました。そして今回は2015年に改めて編曲された男声四部版で演奏します。

### 1. かなしみ

ピアノの16分音符による細かな動きは、まるで詩人の心の内が表現されているようです。感傷的な詩が、4パートにより複雑に絡み合いながら感情的に、また抒情的に歌われ、次第に高まりながら頂点に達したところで唐突に曲が終わります。

### 2. てがみ

緩やかな3拍子の音楽により夜の海の情景が神秘的に描かれます。ベースによる主旋律と他声部によるハミングで静かに歌い出され、波に揺られているかのような旋律が印象的です。静寂の中に美しい色彩感が感じられる夜想曲です。

### 3. 世界でいちばん遠い土地へ

全パートのユニゾンによる堂々とした歌い出しで始まります。そして詩句ごとにテンポを増していき、躍動感をもって掛け合いながら歌われます。感傷的な短い間奏のあとの詩人の独白が印象的です。情熱的で壮大なスケール感のある曲です。

### 4. ぼくが死んでも

スペインの詩人、フェデリコ・ガルシア・ロルカの詩「別れ」へのオマージュとして書かれた詩でしょうか。穏やかな語り口調に切なさを感じられます。中間部ではピアノのアルペジオにより青い海の風景が描かれているかのようなようです。

### 5. 思い出すために

ジャズのテイストを盛り込んだスウィングのリズムやコード進行が魅力的な曲です。アドリブ風の前奏に始まり、別れた恋人との思い出や記憶の断片が切々と歌われます。また後半のスキットの部分は感情が爆発するかのようなようです。

### 6. 種子（たね）

ピアノの上行形の分散和音に乗せて淡々とした問いかけで始まります。短調で始まった音楽は次第に高揚し長調へと変わっていきます。そして最後は恋人への静かな呼びかけで終わります。曲集の終曲に相応しいドラマティックな曲です。

（萩原寛明）

#### 指揮 萩原寛明（はぎわらひろあき）

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。ウィーン国立音楽大学卒業。ウィーン留学中にはアーノルト・シェーンベルク合唱団に所属し、世界的指揮者らのもと、ヨーロッパ各地での演奏会や録音等に参加し、合唱に対する造詣を深めた。現在は、バリトン歌手としてオペラや演奏会に多数出演するとともに、合唱指揮の分野でも意欲的に活動している。



現在、関西二期会会員。神戸女学院大学、京都教育大学各講師。混声合唱団Xsing、大阪男声合唱団、大阪グヴァントハウス合唱団、混声合唱団エヴァグリーン、Ensemble Voce 各指揮者。河内長野ラブリーホール合唱団指導者、大阪大学男声合唱団ヴォイストレーナー。

#### ピアノ 内藤菜穂子（ないとうなほこ）

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科修了。鈴木豊子記念賞受賞。兵庫、大阪にてソロリサイタル開催。これまでに山本未央、小西豊子、松村英臣、成瀬修、坂井千春、山上明美の各氏に師事。現在、神戸女学院大学伴奏要員、エリーゼ音楽アカデミー、神戸ピアノステーションピアノ各講師を務めるかたわら、ソロ、室内楽、伴奏など幅広く活動している。





日本列島に現存する民謡はその数2万とも3万とも言われています。その発生起源については諸説あり、また分類に関しても幾つもの試みがなされていて、実に多岐にわたっているようです。

(「仕事唄」を例にとっても「木遣唄」「田植え歌」「守り子唄」「野良唄」「米搗唄」「茶摘み唄」のほか「長持ち唄(婚礼)」「舟唄」「馬子唄」そして「ご当地ソング」「お座敷唄」など)

古くから営々と歌い継がれてきたこれらの民謡は、著名な作曲家による作品とは異なり、それぞれの地域の文化遺産とも言えるもので、無名の民衆の祈りや歓び、哀しみの発露でもあるだけに唄う者、聴く者のこころを揺り動かしてやみません。

### ①<<竹田の子守唄>>(京都)

数ある「仕事唄」(子守り関連の寝かせ唄・遊ばせ唄・守り子唄…)の中の「守り子唄」のひとつ。この唄の背には子守り奉公に出された年端もゆかない娘の哀しみや絶望感がずしりと重くのしかかり、「はよも行きたやあの在所こえて、向こうに見えるは親のうち…」と、どこまでも切なく、やるせなく唄われます。

### ②<<刈干切唄>>(宮崎)

日向は高千穂の山里に古くから伝わる<<刈干切唄>>は、一日の野良仕事を終えた安堵感の中で、明日の仕事に思いをめぐらせる気持ちがソロを交えて唄われます。刈干切りの季節を迎えた山里が暮れゆくひととき、その素朴でのどかな歌声が、谷から谷へと二重、三重に重なり合って飴(こだま)してゆく様は、さながら一幅の絵を思わせるようでひととき高千穂の山里に誘われます。

### ③<<ちゃっきり節>>(静岡)

大正12/1923年、改名開業した静岡電鉄が建設した遊園地にあった人工温泉付き料亭旅館の客寄せにお座敷用PRソングをつくることになり、依頼を受けた北原白秋が作詞、昭和4/1929年、コロンビアから「狐音頭」などと共にレコードが発売され、世に出たご当地ソングの逸品。日本一の茶どころを彷彿とさせます。

### ④<<こきりこ>>(富山)

越中富山の五箇山に古くから伝承されてきた<<こきりこ>>は、鄙(ひな)びた節回しの中に、遠く夜空に吸

い込まれてゆく清冽な声が求められる佳曲。ソロに加えて、この地方に伝わる簞(ささら)を交えて唄います。

\*<ささら>は108枚の木片と両端のグリップを紐で結びつけたもので、アーチ状に保持し片手でスナップを効かせながら次々と衝撃を与えることで打音を響かせる五箇山に古くから伝わる民族楽器。

\*<こきりこ>は「筑子」と表記され、中世の頃、手品や曲芸を繰り広げた大道芸人「放下」が常用していたようです。7寸5分(約23cm)に切った竹片を両手で回しながら打ち鳴らすもので、これをふんだんに活用した民謡が「こきりこ節」です。

### ⑤<<最上川舟唄>>(山形)

富士川(静岡)・球磨川(熊本)とともに日本三大急流のひとつに数えられ、山形の内陸と日本海を結ぶ大河を歌った<<最上川舟唄>>は清水脩が残した傑作のひとつ。勇壮なソロに始まり、漕ぎ手と舵取りの掛け合い、中間部に現れる追分け節とが巧みに絡まり、激流をゆく舟の様が目に浮かびます。

(田中安夫)

#### 指揮 田中安夫(たなかやすお)

1960年、神戸大学教育学部小学科卒業。在学中、グリークラブ指揮者。卒業後は音楽教師として西宮市内の小学校に勤務、子どもたちの合唱づくりに取り組む。1965年度民放主催こども音楽コンクール小学校合唱の部全国第1位受賞。



作曲を中村茂隆、川口晃両氏に師事。校歌・園歌・子ども会や婦人会の歌をはじめ、《教材の手づくり運動》をテーマに「君たちの未来は」「歯みがきマンのうた」「ぼくは行くんです」「音楽会よさようなら」など子どもたちのための作品、合唱曲「川のゆくえ」「岸田衿子の詩による合唱組曲：山に寄せる3章」ほかを創作、また編曲も多く手がけている。

退職後、東京書籍版小学校音楽教科書編集委員を歴任。現在<Cheery Mammals & Pappas><阪神シニアカレッジ：うたごえの会>指揮者。<音楽工房：AMP-5>主宰。



私たちの世代で「大阪万博」といえば、半世紀前の千里万博。岡本太郎の「太陽の塔」やアポロが持ち帰った「月の石」の長い行列が思い出されますが、何と言っても三波春夫が歌った「世界の国からこんにちは」は多くの人に愛されました。この曲の作詞者が大阪の詩人、島田陽子（1929～2011）。そして、本日お届けする「おおさかグラフィティー」の作詩者その人です。「耳にまろくやわらかく、しかも独特のおかしみと、したたかさを持った魅力的なことば」を集めた詩集『大阪ことばあそびうた』が編まれました。この詩集を基に、同志社グリーンクラブのOBで結成された男声カルテット「ワイルドローバーズ」が、詩人とは府立桜塚高校の同窓生でもあるジャズピアニストの前田憲男（1934～2018）に作曲を依頼してできたのが男声合唱曲「おおさかグラフィティー」です。

若い人たちには、なじみの薄い言葉も多くあり、現代では不適切で、配慮の必要ありと思われる言葉もあります。しかし、大阪弁の「意味」と「音」の飛躍と連鎖が作り出す言葉あそびに、作曲者のあそび心が織りなすリズムとノリが重なり、楽しい世界を繰り広げます。作者の意図を尊重してそのまま歌います。

詩集では以下の注釈がつけられています。そんなもん、聞かんでもわかってる、と思われる方も多いでしょうが、まあ念のため。

### 1 いうやんか

べんちゃら＝おべっか お世辞  
 やつし＝おめかしや おしゃれ  
 やらしい＝いやらしい  
 いけず＝いじわる

### 2 かぞえうた

いっちょおらい＝よそいきの晴れ着  
 さらっぴん＝新しいこと  
 ごとび＝毎月の五、十の日（大阪の集金日）  
 ろおずもん＝売残りの品、とことん＝徹底的に  
 どもならん＝どうにもならぬ 困っていること

### 3 へんなひと

でんぼ＝おでき、やらこい＝やわらかい

### 4 けったいなひと

けったいな＝変な 妙な おかしな  
 うとて＝歌って

はばきかして＝威勢よく振舞って  
 おだいじん＝大金持  
 けったくそわるい＝不愉快な

### 5 ややこ

ややこ＝赤ん坊、のまな＝飲まなくては  
 ややこし＝得体のしれない 訳の判らない

### 6 あいうえおおさか くいだおれ

さいぜん＝先ほど、かもり＝冬瓜  
 かとだき＝おでん、けつね＝きつねうどん  
 こんまき＝昆布巻き、さやまめ＝枝豆  
 すうどん＝かやくを入れないかけうどん  
 ひろうす＝がんもどき、ぶぶづけ＝お茶漬け  
 よばれて＝ご馳走になって  
 ごつつおはん＝ごちそうさま  
 かにして＝堪忍して 許して  
 やしんぼ＝いやしんぼ、ゆうみそ＝ゆずみそ  
 よっぴて＝夜どおし、ろおじ＝路地 狭い道  
 （海谷 叔伸）

#### 指揮 海谷 叔伸（かいやよしのぶ）

1977年（昭和52）大阪市立大学理学部卒。大阪府立旭高校音楽部指揮者を経て大阪市立大学グリーンクラブ指揮者。大学卒業後は、旭高校音楽部 OB 合唱団のコール AO で指揮・合唱活動。2016年（平成28）より南澤会合唱団に参加。邦人組曲・黒人霊歌などを得意とし、宗教曲・ジャズ・ブルースをこよなく愛する。



#### ピアノ 石幸 千照（いしこうちあき）

大阪芸術大学を学費全額免除生として卒業。同大学芸術専攻科修了。卒業時、演奏学科研究室賞受賞。卒業演奏会、関西新人演奏会に出演。第1回大阪国際音楽コンクール入選。1991年秋期特別コースにて、A.イエンナー氏に、2001年マタイザー・ゾンマー・アカデミーにてG. ルードヴィッヒ氏に師事。これまでに、故岡坂恭子、U.シュニーベルガー、平井令奈の各氏に師事。大阪芸術大学伴奏要員を経て、現在関西女子短期大学非常勤講師。4合唱団体のピアニストを務める。全日本ピアノ指導者協会会員。





私たちは20年以上にわたって、毎年作曲家多田武彦さんの組曲作品を取り上げて歌ってきました。今年度は男声合唱組曲「中原中也の詩から」です。在学中、京大男声合唱団指揮者として活躍された多田さんは、卒業後直ちに初任地の大阪で当団に入団し、1953年から1957年春までの4年間指揮者を務めました。本日演奏いたします男声合唱組曲「中原中也の詩から」は、1954年に発表された処女作・男声合唱組曲「柳河風俗詩」から数えて20作目、作曲家としての地歩を固めた多田さんの37歳のときの作品で、1967年に関西学院グリークラブの委嘱によって作曲されたものです。

詩人中原中也は主として昭和初期に活動し、1937年、結核性脳膜炎によって30年の生涯を終えました。中也に訪れたわずかな幸せである長男文也が、生まれた翌々年に2歳で死亡し、中也は激しく嘆き苦しみ、神経衰弱に陥って、その死期を早めました。荒涼、寂寞とした中也の心象風景を描くその詩は、しかし抒情に彩られています。多田さんは、これらの詩群の中から6篇を選んでこの組曲を作曲しました。作曲に際して、多田さんは次のように述べておられます。

「中也の詩を基にした曲の演奏に際しては、中也の、全く追い詰められた人生の中から昇華され生まれ出て行く冷徹なまでに美しい抒情性を如何にして表現するか、ということが最も大切であり、私はこの一見簡略な手法を用いた組曲の中に十分試みた積りである」と。

荒涼、寂寞の心象風景の中に彩られる中也の抒情を汲み取っていただければ幸いです。

## 1 北の海

「海にいるのは、あれは、波ばかり」「波はところどころ歯をむいて、空を呪っているのです」という絶望の心象の中、「海にいるのは、あれは人形ではないのです」という同じ趣の言葉を作曲者は中也のこころを汲んであんなにもメルヘンを含んだ優しいメロディーで独唱させる。

## 2 汚れっちまった悲しみに

少年時代、慈悲深い両親を虚言で欺き続け、酒におぼれ、…、いまだに身を立てられずにいる自責の念と深い悔恨に呻吟する、中也の絶唱。

## 3 間奏曲

「降りはじめた雨が、あどけない、幼い子の顔にぽたりと落ちた」不意の自然現象に慌てふためく人々の様子が象徴的に歌われる。

## 4 雲雀

一日じゅう空で唸り続ける電線、啼き続ける雲雀。その下に広がる菜の花畑に眠る赤ん坊。無私なる自然の調和、春の放心と陶醉を歌う。

## 5 六月の雨

「お太鼓叩いて笛吹いて あどけない子が日曜日昼の上で遊びます」中也が溺愛する長子文也が部屋で遊んでいる。外には六月の雨が降る。その中に中也はあの「眼うるめる、面長き女」の幻影を見た。

## 6 月の光

月光が射す芝生の庭の片隅の草むらに死んだ児が帰ってきて隠れている。そこに寓話の主人公チルシスとアマントも登場してきた。しかし、月の光も悲しみの色にぼやけ、ギターも放り出されたままである。中也の寂寞と文也への慈愛の心象風景。

(増田 博)

### 指揮 上床博久 (うわとこひろひさ)

京都大学医学部卒業。在学中に京都大学男声合唱団・京都大学混声合唱団の指揮者を務める。1996年にアルマ・マータ・クワイアに入団、1998年より指揮者。

以降多田武彦氏の作品に積極的に取り組み、特に2010年からは毎年多田組曲を取り上げている。

2019年から、ヨハン・シュトラウスのウイナワルツをアルマ団員が訳した日本語演奏に毎年取り組み、「美しく青きドナウ」などを指揮した。

指揮法を佐々木宏氏、四野見和敏氏に、声楽を田中千都子氏に師事。





## 合同演奏 男声合唱のための組曲「旅」

この曲が最初に演奏されたのは、1963年ですでに60年が経ちます。作曲は「大地讃頌」で知られる佐藤眞、作詞は第2、3、4曲は山之井愼、それ以外は田中清光です。私がこの曲に出会ったのは、吹奏楽をしていた高校生の時。コーラス部の人たちが、盛んにこの曲や『蔵王』を歌っているのを楽しんで聞いていました。本日も来場いただいた方々の中にも、この曲を歌ったことのある方がおられるのではないかと思います。

コロナ禍で長く旅行を控えていた皆さんも、これからどんどん出かけられることでしょう。この曲のメロディを聞いていると、懐かしい土地の風景などが思い出されるのではないかと思います。

## 1 旅立つ日

“行け、旅にいまこそ！”でいきなり始まるメロディ。旅の喜びを歌います。

## 2 村の小径で

若者が村を訪れた。おじいさんが昔話をしてくれた。同じ作曲家の合唱組曲『蔵王』の中の第5曲「おはなし」も彷彿させます。

## 3 旅のよろこび

久しく広い青空を忘れていた若者は、旅に出て蝶のように山に飛び海辺に舞い降ります。山を呼び海に叫ぶ若者の開放感を歌います。

## 4 なぎさ歩めば

遠く過ぎ去った日に二人で歩いた渚。再び訪れた砂浜の汐鳴りが切なく胸に迫ります。間奏部のピアノが叙情的です。

## 5 かごにのって

かごかきの帽子がおおきくゆれ、“エーイッホ”、“エーイッホ”と掛け声がかかります。アカペラで、合唱は進みます。

## 6 旅のあとに

楽しかった旅の終わり。一人で帰る旅は、とても寂しい。人生もまた、旅。大きな喜び、悲しみもあり、失敗もあったでしょう。一人一人が思い起こしながら、思いを込めて歌います。

## 7 行こう ふたたび

第1曲のあざやかなフレーズが再登場し、新たな旅の始まりを歌います。

(宮内 泰)

## 指揮 宮内 泰(みやうちやすし)

1976年(昭和51)大阪市立大学理学部化学科卒。在学中グリークラブに所属し、指揮者も勤める。セカンドテナー。卒業後、中学校教諭。吹奏楽の顧問として生徒を指導する。



音楽は、特に、ベートーベン、モーツァルトが好き。合唱では、世界の民謡、黒人霊歌、バーバーショップ、日本歌曲、多田武彦、清水脩、木下牧子、佐藤眞、森脇憲三などを演奏してきた。アカペラが好き。中島みゆき、尾崎豊やラテン音楽、Jazzも興味がある。

2014年より、南漕会合唱団の指揮活動にはいり、現在、技術委員長。団内の有志で、老人ホームへ慰問の活動も行ってきた。2年後、市大グリー100周年には、現役、OBで有意義で楽しい催しを行いたいと思っている。

## ピアノ 石幸千照(いしこうちあき)



(プロフィールは第3ステージをご参照ください)



大阪男声合唱団は、大阪大学男声合唱団(阪大男声)OBの合唱団として 1954 年に発足し、1959 年までは毎年の阪大男声の定期演奏会に賛助出演したほか、関西の合唱祭はじめ多方面で活発に活動を行いました。

その後 20 年余りは休眠状態になりましたが、1980 年から活動を再開し、1982 年 5 月には「五つのOB男声合唱のタベ」に出演、以後のANCORの会への出演を続けています。

1990 年代の終わり頃から、阪大男声草創期のOBが職場の現役を引退する時期を迎え、それら諸先輩によってOB会と大阪男声の体制が再整備されました。2001 年 7 月には第 1 回定期演奏会を開催し、その後も毎年の開催を続け、第 7 回は大阪・東京の 2 回公演、第 8～11 回は愛知県瀬戸市を加えた 3 回公演を果たしてきました。2012 年の第 12 回からは大阪と東京の交互開催に改めました。

2017 年には団則を改正し、大阪男声合唱団は活動の拠点を大阪府と東京都に置き、それぞれ大阪本部、東京支部として普段の練習と独自の演奏会活動を行うとともに、毎年の定期演奏会は大阪と東京が一致協力して開催するという位置づけを明確にしました。

第 20 回記念定期演奏会はコロナ禍で 1 年延期となりましたが 2021 年 8 月、初めて住友生命いずみホールで開催しました。2023 年 1 月には、現役の阪大男声が第 70 回記念定期演奏会を開催し、大阪男声団員を含むOB108 名が賛助出演しました。また 2023 年第 22 回大阪男声定演と 24 年 1 月の現役定演には相互に賛助出演し、交流を深めました。

今年は、第 23 回定期演奏会を 8 月 4 日(祝)、東京晴海トリトンスクエアの第一生命ホールで開催します。

#### <出演メンバー> 32人

|    |       |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|-------|
| T1 | 多田 晴彦 | 岡田伸太郎 | 辻 輝夫  | 栗山 和郎 |
|    | 上田 勝己 | 平木 秀男 | 鷺見 晋吾 |       |
| T2 | 子安 一男 | 田村 坦之 | 藤本 好司 | 詠田 英夫 |
|    | 豊原 力  | 久米 勝彦 | 本間 真人 | 明渡 寛  |
|    | 内田 裕樹 | 高橋 宏明 |       |       |
| B1 | 田口 孝人 | 荒木 正雄 | 橋本 達弥 | 松永 滋  |
|    | 山田 雅朗 | 坂田 裕二 | 池田 直昭 | 清田 展弘 |
| B2 | 中野 洋介 | 前川 洽治 | 松宮 啓  | 桂 正   |
|    | 佐々木泰介 | 大和 俊哉 | 片川 徳明 |       |

## 六甲男声合唱団

<https://rokkomc.web.fc2.com/>

1954 年に神戸大学グリークラブのOBを中心に創設されました。その後神戸大学以外の大学OBや一般の合唱好きも入団して、オーソドックスな男声合唱団に成長してきました。

これまで、フランス・ドイツ・台湾での演奏旅行を成功させてきました。国内においては隔年開催の定期演奏会、毎年開催の本日の四つの男声合唱の集い(アンコールの会)、隔年開催の旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会など多彩な活動を続けております。



音楽監督兼指揮者と、持ち味の異なる 2 名の団内指揮者に率いられ、欧米の古典曲や邦人の作品、さらには世界の民謡、魅惑の映画音楽など、幅広いレパートリーを持っております。コロナ禍で 2 年間は練習も演奏会もできませんでしたが、本年 2024 年は創設 70 周年となり、記念定期演奏会を開催いたします。(写真は 2023 年 5 月アンコールの会)

#### 【本年度の演奏会】

5 月 3 日(金)、11月16日(土)島崎央子ピアノリサイタルに 2 回賛助出演(いずれも西宮アミティホール)

5 月 26 日(日)四つの男声合唱の集い(アンコールの会)

12 月 7 日(土)神戸松方ホールにて 70 周年記念定期演奏会

#### 【練習日】

毎週火曜日、阪急夙川駅南徒歩 5 分の夙川公民館ホール、18 時から 20 時半まで。

【連絡先】団長 永井哲郎:090-2492-5915

tetsunaga9845@yahoo.co.jp

#### <出演メンバー> 31人

|    |       |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|-------|
| T1 | 後久 義昭 | 小林 和生 | 佐々木英洋 | 西本 憲生 |
|    | 平林 陽  |       |       |       |
| T2 | 大隅 国雄 | 加藤 雅夫 | 川本 昭男 | 桐ヶ窪 卓 |
|    | 白川 秀司 | 寺井 洋一 |       |       |
| B1 | 大谷 遷  | 大塚 宏一 | 加輪上敏彦 | 佐々木道治 |
|    | 藤澤 隆博 | 前田 豊治 | 松井 嘉和 | 村田 一朗 |
| B2 | 市村 重勝 | 井上 和雄 | 奥村 隆  | 柏木 将男 |
|    | 佐藤 敏弘 | 田中 安夫 | 坪内 啓二 | 徳重 光彦 |
|    | 永井 哲郎 | 藤田 一幸 | 三木 邦夫 | 望月 薫博 |



〈歴史〉1940(昭和15)年に旧大阪商科大学(大阪市立大学を経て大阪公立大学)グリークラブとそのOBにより設立。南澤会の「澤」は大阪市の市章「澤標(みおつくし)」より。現在はOBに限らず、男声合唱を愛する方であれば老若どなたでも参加できる市民団体として活動しています。大戦や学園紛争等により活動を中断した時期もありましたが、2022(令和4)年11月には、コロナ禍の影響で2年遅れの創立80周年記念演奏会を開催いたしました。

〈レパートリー〉日本歌曲、宗教曲、黒人霊歌、ポップス等ジャンルを問わず挑戦していますが、団員の高齢化にともない、外国語の曲(舌を噛む、覚えられない)やリズムミッドな曲(ずれる、遅れる、やはり舌を噛む)は、やや苦手。とはいえ、常に新しいものに果敢にチャレンジしています。

〈練習〉月4回土曜16時から19時に東大阪市創造文化館(近鉄八戸ノ里駅北すぐ)にて練習。月に一度、ボイストレーニングをバリトン歌手木村孝夫さんに、またピアノ伴奏は石幸千照さんをお願いしています。

〈演奏会〉本年11月23日(土・祝)に第23回定期演奏会を、大阪天満橋のドーンセンターで開催し、現役「大阪公立大学グリークラブ」との共演も予定。隔年開催の「旧三商大

OB男声合唱団交歓演奏会」、毎年開催される「四つの男声合唱の集い」を、老骨に鞭打ち(打たれ)つつ、演奏活動をこなしています。

〈これから〉2026年には当合唱団の母体である大阪市立大学(現大阪公立大学)グリークラブが誕生100周年を迎えます。具体的な内容はこれからですが、この機に現役部員、南澤会合唱団、東京南澤会合唱団、そして全国のOBが一堂に会し、気持ちを一つに大合唱ができればと願っています。

#### ＜出演メンバー＞ 33人

|    |       |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|-------|
| T1 | 岡橋 博  | 神代 一徳 | 寶木 健一 | 田中 宏和 |
|    | 長田幸一郎 | 松波 謙至 | 森本 眞一 |       |
| T2 | 尾崎 納  | 白井 清貴 | 富増 和彦 | 野津 直樹 |
|    | 長谷部資朗 | 宮内 泰  |       |       |
| B1 | 石原 潤一 | 太田 一忠 | 瀧井 尚志 | 辻 秀郎  |
|    | 花澤 光正 | 松井 繁明 | 安井 永  | 横田 卓郎 |
| B2 | 赤崎 弘平 | 今道 隆夫 | 扇田 豊  | 小倉 裕  |
|    | 海谷 叔伸 | 曾家 義晴 | 田中 彰一 | 仲嶋 研一 |
|    | 牟田 岑男 | 松村 喜裕 | 南 良樹  | 和田 昭夫 |

## アルマ・マータ・クワイア

<https://alma-mater.jp/>

「アルマ・マータ・クワイア」(Alma Mater Choir)とは「母校の合唱団」を意味します。日頃は略して「アルマ」と呼んでいます。太平洋戦争の戦地にあつて「無事日本に帰還できたら男声合唱団を作ろう」と心に誓った一人の京大男声合唱団OBが中心となって1947(昭和22)年に結成された一般男声合唱団です。

アルマは特定の大学の出身者だけではなく、歌の好きな男声を広く迎えてともに歌う。合唱するだけではなくお互いに啓発し合い、家族を含めた終生の友情関係を結ぶ。これが当初からのモットーとして77年後の今日も生きています。

毎週水曜の夕方、30代から90代に及ぶ団員は大阪堂島の中央電気倶楽部に集まって来ます。4年前に始まったコロナ禍の下、試行錯誤しながら開拓してきたICT技術を生かして今は会場での練習をライブ・ネット配信。諸事情で欠席の団員も視聴しながら歌うことができます。

アルマの先輩でもある多田武彦作曲の合唱組曲、日本現代作曲家の合唱組曲、松井義知客演指揮者によるバロック以降の西洋音楽など多彩な曲をレパートリーとして取り上げています。

詳しくはアルマHPをご覧ください。Youtubeで過去の演奏も視聴できます。

アルマホームページのQRコード ⇒



本日は休団者の復帰や新たな団員を迎えて、ここで演奏でき、皆様と音楽のひと時を共にできますことを心から幸せに思っております。

#### ＜出演メンバー＞ 36人

|    |       |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|-------|
| T1 | 上床 博久 | 大澤 孝  | 日下部健介 | 坂井 俊朗 |
|    | 南茂 泰三 | 橋本 秀樹 | 林 茂紀  | 町田 信雄 |
|    | 的場 輝佳 | 山田 裕史 | 吉國 義明 |       |
| T2 | 芦田 寛  | 海上 正彦 | 太田 茂之 | 奥 泰夫  |
|    | 谷野 敏雄 | 中塚 等  | 古川 浩  | 前田 康夫 |
|    | 吉里 文雄 |       |       |       |
| B1 | 荒井 敏明 | 上野 晴夫 | 香川 睦  | 北島 政憲 |
|    | 木本 実美 | 杉本 修  | 畑山 勝明 |       |
| B2 | 石橋 克己 | 大内山 孝 | 川口 義行 | 鈴木 卓  |
|    | 竹山 清明 | 西村 勝  | 増田 博  | 森崎 実  |
|    | 山下 千之 |       |       |       |



ANCOR

